

この広報紙は、岡山市公立保育園、岡山市立幼稚園、認定こども園、小・中・高等学校の保護者等にお配りする他、各区役所、支所、地域センター、公民館、図書館等の市の関係施設に置いてあります。また、HPでもご覧いただけます。

元気で
楽しい
毎日にするワン♪



岡山市教育委員会
広報専門官
こらぼん♪

誰もが安心して通える 学校園づくりを目指して



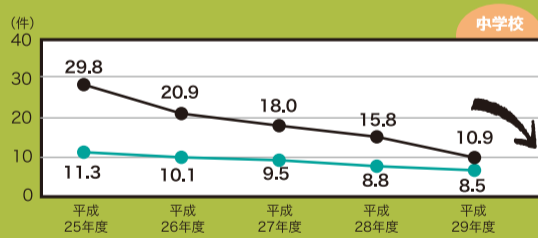
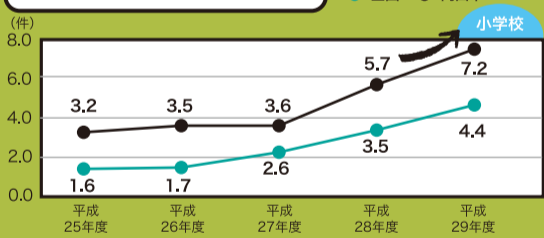
岡山市教育委員会では、定期的に行う質問紙調査やアンケート、教育相談など様々な視点から子どもたちの現状を正確に把握するとともに、各関係機関と連携して、問題行動や不登校等の未然防止と解決を目指した取組を進めています。

岡山市の現状は？

「H29年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

暴力行為

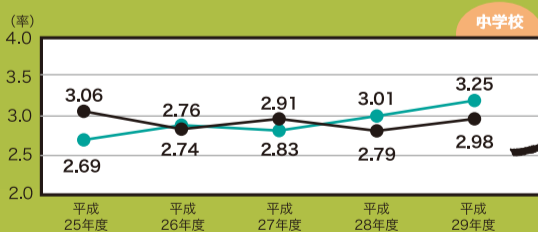
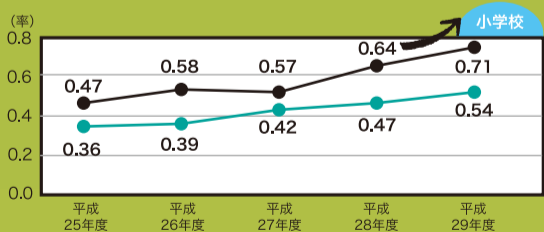
児童1,000人当たりの暴力行為の発生件数



暴力行為について、中学校では保護者との協力的な指導や、各学校での継続した指導、警察・関係機関との連携等により、発生件数が大幅に減少している一方で、小学校での割合は増加の傾向にあります。

不登校

不登校児童の出現率



不登校については全国的にも増加傾向にありますが、岡山市はその割合が小学校で高くなっています。

岡山市では

この現状を改善するために！！

岡山市の学校は

**暴力を許さず、
毅然と対応します**

子どもをしっかりほめ、
きちんと叱ります。

岡山市の学校は

**新たな不登校を生まない
取組を徹底します**

困ったときには、
いつでも一緒に考えます。

岡山市の学校は

**いじめを積極的に認知し、
解決に努めます**

つらい気持ちに早く気付いて、
子どもの様子をしっかりと見守ります。

一人一人の育ちを支える指導・支援を充実させています

各自のペースにあわせて過ごせる場所なので、安心して、お気軽に相談してくださいね。



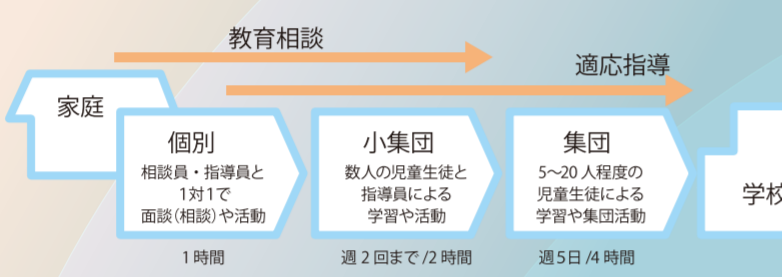
不登校などで困ったら 教育相談室へ相談を!

岡山市の教育相談室と適応指導教室では、不登校やいじめ等に関して、教育相談に応じたり、児童生徒の集団への適応性を高めるために、一人ひとりに寄り添った指導・支援を行ったりしています。学習だけでなく、ゲームや軽スポーツをしたり、小集団で過ごしたり、子どもにとって安心して話ができる場所となっています。我が子とどう関わったら良いか悩む保護者の相談も受け付けています。

今回は、相談機関の一つ、岡山市中区の「あおぞら操山」にお話を聞いたワ!



教育相談室 あおぞら操山
みかみ けんじ にしもり はるゆき 三上 健二 室長 西森 治行 室長
うめむら もとこ 梅村 始子 指導員 青野 彰子 指導員



岡山市の取組

家庭・地域への啓発

「子どもたちの健全育成に向けて」

～学校・家庭が一体となって取組を進めましょう～

学校が取り組むこと

- 〇暴力行為・いじめに毅然と対応**
 - ・しっかりほめ、適切に叱る
 - ・校内の指導・支援体制を整備する
 - ・中学校区の学校間で連携する
- 〇不登校の未然防止**
 - ・安心して通える学校や学級をつくる
 - ・授業をわかりやすくする
 - ・専門家や専門機関を活用する

家庭で大切にいただきたいこと

- 〇子どもとのふれあい**
 - ・子どもと一緒に過ごす時間をつくる
 - ・子どもの話をよく聞く
 - ・良い所をしっかりほめ、いけない所はきちんと叱る
- 〇基本的な生活習慣**
 - ・家庭学習の習慣をつける
 - ・食事や睡眠、排泄等の生活リズムを整える
 - ・テレビやゲーム、インターネット等の使い方を話し合う

事業者 岡山市の目指す教育 **行政** 自立に向かって成長する子どもの育成

平成31年4月 岡山市教育委員会

学校と家庭・地域が一体となって「子どもの良い所をしっかりとほめ、いけない所はきちんと叱る」ことが大切なんだワ!



教育委員会では今年4月に、学校と家庭・地域が協力して子どもを育成することを呼びかける啓発資料を作成し、配付しました。気になることがあれば遠慮なく学校へご相談ください。

学校での取組

安心して過ごすことができる学校づくり

岡山市立 中山中学校

地域とともに ～保幼小中の連携～



暑中でしたが、学校の運動会でも落ち着いて話を聞けています

子どもの健全な育成は 周囲の大人の関わりが大切

中山中学区は地域の方々積極的に学校に関わってくださいます。だから子どもたちは、このふるさとを感じながら、落ち着いて自分の目標に向かって頑張れる。そういった歯車が合ってきていることが子どもたちの表情からも実感できます。



岡山市立中山中学校 三木 満徳 校長先生



夢づくりノートへの記入を続けています



毎日の記録と自主勉強はチャレンジノートを使った先生とのやりとりで、やる気を持って続けられます

岡山市立 芳田小学校

豊かな人間性の育成



折り鶴たくさん折れました!

日々の積み重ねが大きな効果を生み出します

折り鶴が苦手な子には得意な子が作り方を伝えるなど、温かなコミュニケーションが随所に生まれ、学校全体の雰囲気優しいものになっています。



岡山市立芳田小学校 6年担任 坪井 雅彦 先生



折り鶴はプロジェクトのメンバーだけでなくみんなで折ってストックしています

廊下の真ん中に折り鶴を置くプロジェクトを続けています。折り鶴を踏まないように安全に廊下を歩くだけでなく、環境が整うことで気持ちよく暮らせることを実感できます。

一番の効果は「思いやりの気持ち」が育まれることです。折り鶴を踏んでしまったとしたら、プロジェクトメンバーが直していきます。この取組から、人の努力を想像し、友だちの気持ちを思いやる、優しい気持ちも育っています。

岡山市立 箕島小学校

授業改善と家庭学習の充実



自主勉強プリントの冊から積極的に持ち帰っています

「安心感」を子どもが感じ人間関係に良い影響が出ています

自主勉強をサポートする取組を続けることで、時間があれば「自学ノート」をやりたい!と子どもから声が上がることが多くなりました。子どもたちが安心して頑張れる環境が整い、良いサイクルが生まれてきていると感じています。

学校で習ったことを定着させるためには家庭学習が大切です。しかし、どうしたら良いのかわからない、と思う子どもも多いです。学校がサポートして自主勉強の準備をすることで、もっと勉強したい!という思いを大切にしています。

取組の成果は「がんばりカード」で目に見える形にして、校内に掲示することで、さらにやる気が高まるようにしています。また、『家庭学習のしおり』には自主勉強のアイデアが詰まっています。毎日の家庭学習の時間はどんどん増えています。



岡山市立箕島小学校 (左) 教務主任 山田 紀子 先生 (右) 6年担任 奥村 勉 先生



自主勉強のヒントが詰まった冊子を配布

岡山市で教育相談ができる施設

気軽に
相談して
いいんだワン!



岡山市教育相談室では、市内在住の幼児及び児童生徒、保護者、教職員を対象に、不登校やいじめ等に関して、面接等による教育相談に応じたり、児童生徒の集団への適応性を高めるための指導、支援を行ったりしています。

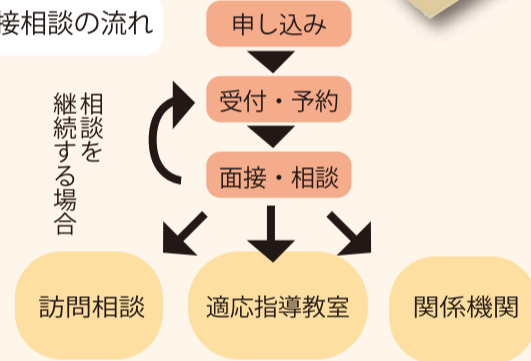
岡山市教育相談室・ 岡山市適応指導教室などの所在地



教育相談について

- 電話相談／面接相談
 - ・電話相談、面接相談の他にも、いじめ相談専用ダイヤルを設置し、直接、児童生徒からの相談を電話で受け付けています。
- 専門相談（要予約）
 - ・精神科医、ことばや情緒面の発達等の専門家が、相談に応じます。
- 訪問相談
 - ・家庭に引きこもりがちな不登校児童生徒を対象に、訪問相談員が各家庭を訪問し、教育相談を行います。学校を通して岡山市教育相談室に申し込みが必要です。

面接相談の流れ



詳しくは

こらぼ

ご意見・ご感想をお聞かせください。

今回の特集で興味をもってお読みいただいた記事やその理由などを今後取り上げて欲しいテーマと共にお願いします。抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

こらぼVOL.12に
寄せられた
ご意見・ご感想

前回のテーマ
**未来を生きる力を育む
新しい学習指導要領が
スタートします!**

丁度、娘から道徳の授業が教科になるという事を聞き、それについて話をした日にこらぼの記事を読みました。多様な価値観を共有する機会が急激に広がっていく時代の中で、どのように自分と相手との関わりを保っていけば良いのかを経験しながら学んで行ける授業にできれば、思いやりの心を大切にできる人間になっていけると思います。

これからの授業について、外国語教育には特に興味があります。私自身が外国語の勉強には苦勞したので、子供には出来るだけ早いうちに外国語に触れてほしいと思っています。自宅でもできる勉強法などがあれば、実践してみたいと思うので、是非とも教えてください。

道徳の授業に力を入れていくという記事を読んで、先生がどんなことを指導しているのかを親側も知っておく必要があるのではないかと思います。子どもの中の善悪は、少なからず家庭の影響もありますので、先生からの指導と、家庭での指導が全く異なるものだと子どもも混乱すると思うので、先生方と一緒に子どもを育てていければいいなと思っています。また、まだまだ家庭でも話し合いを持ったり、意見を聞くという習慣が薄いので、言いやすい環境や、親と違う考え方の場合、どのように話すのが勉強していかないとけないと思います。我が子は今支援学級の知的クラスに在籍しています。市内の学校は、ほぼ支援学級が配置されていますが、そこで先生方がどんなことをしているのか、通常学級とどんなことが違うのかなど、健常児の親御さんであれば知る機会がないと思いますのでみなさんに知ってもらいたい、また個人的にも他校の活動も含め知りたいので、「特別支援学級」の制度について取り上げてもらいたいです。ご検討よろしくお願ひします。

皆さんの意見を
聞いてみたいんだワン!



応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢(または学年)を明記の上、下記のあて先へご応募ください。

はがき・封書

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目 1-1
岡山市教育委員会事務局
教育総務部教育企画総務課 行

F A X

086-234-4141

Eメール

korabo@city.okayama.lg.jp

応募締切

令和元年 8月31日(土)



※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

紙面で紹介している教職員や関係者の所属は令和元年6月末現在のものです。

発行・問い合わせ：岡山市教育委員会事務局教育総務部教育企画総務課 tel:086-803-1571

編集・制作：株式会社ティ・シー・シー

LINE@岡山市教育委員会 配信中!

ID検索では「@okayamashikorabo」で検索できます。教育委員会の取組や子育てに役立つ情報、学校給食レシピなどを配信しています!ぜひご登録を!

